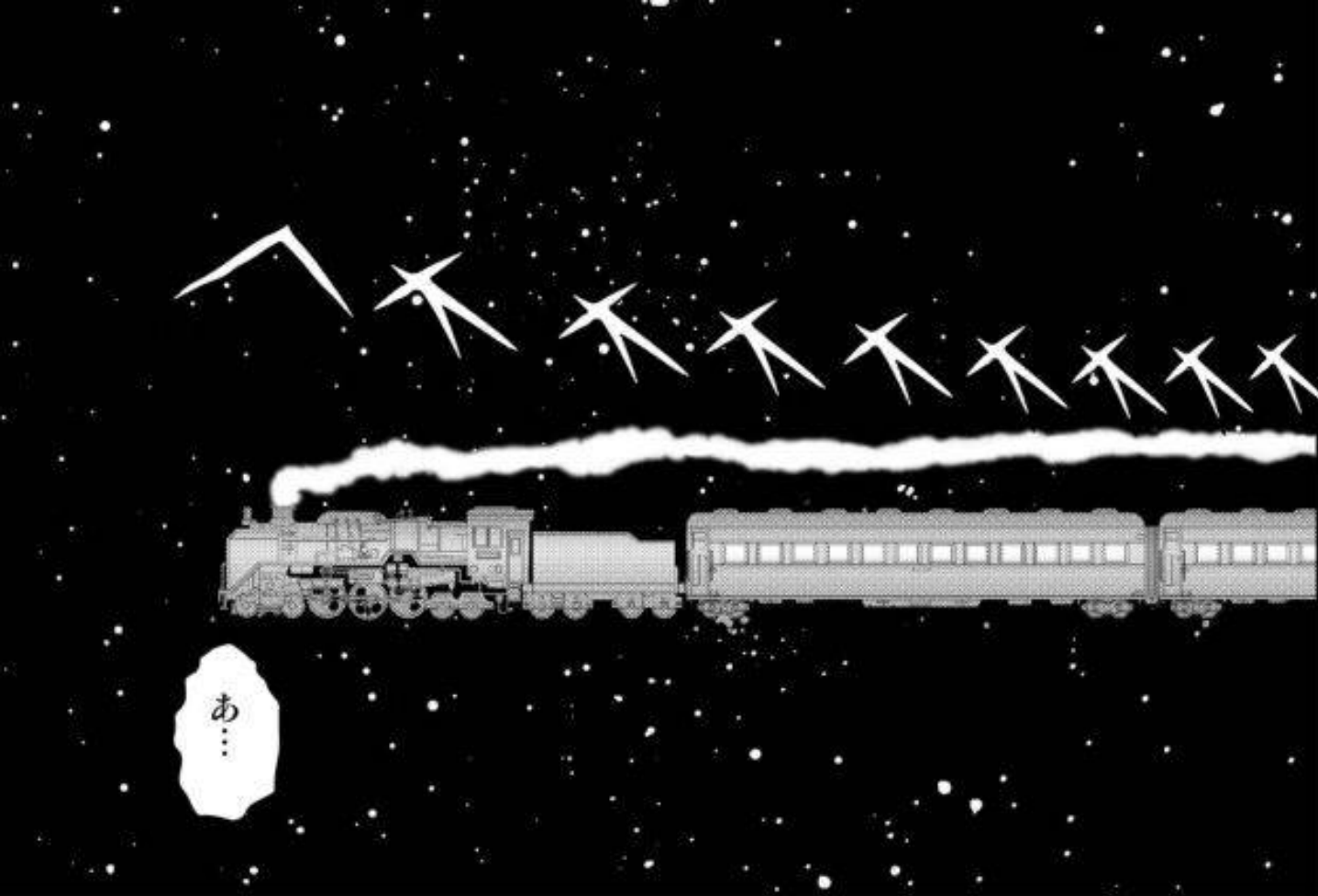


Maietel Story 6

from GALAXY EXPRESS 999 with Love







あ…



ああ…

ハア

ハア



ハア

ウイン

ウイン

ク
ク
ク

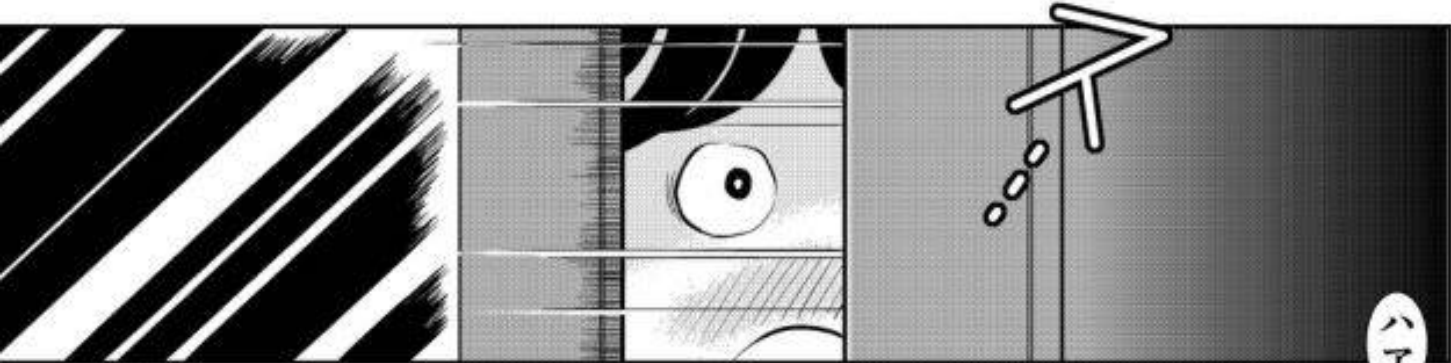
ク
ク
ク

んっ!!

ハア

ハア







はああん…

ああ…

クアッ
クアッ
クアッ

ワイン

アッ
アッ
アッ

ワイン





母さん…
また雪が降って
きたよ…



今夜は
冷えるかしらね
今日は
もう寝ましょう

おやすみ
鉄郎…



鉄郎…

おやすみ
母さん…



グ〜

グ〜





あなた…
どうして…
私と鉄郎を
残して…

逝って
しまったの

こんなにも
あなたに
欲しいのに
…!!



母さん…

やっぱ
父さん
死んで
寂し
かつた
んだ



鉄郎…!?

母さん…!?



……

グ〜

母さん…

母さん…
ムニヤムニヤ

グ〜



びっくり
したわ…

鉄郎っいたら
寝ぼけたのね



ウフフ…

グ〜

グ〜

ほんと…
しようがない
子ね…



でも…
私の可愛い
息子…

えッ!!











この反り具合
お父さんに
そっくり!!

でも…
大きさと
固さは…

お父さん
以上だわ…!!

ハア

ハア



はああ…
も…もう
疼いてきちゃう

我慢…
できないわ!!

ハア

ハア

キエル



鉄郎…
ごめんなさいね

あなたの○ンポ
こっちでも…
食べさせてね!!

ハア

ハア

ハア

グ

グ



ハア

ズッ!!

ハア



ハア

ああんツ!!

ああ...
鉄郎のが...

ハア

息子の遅しい
○ンボが...
私の中に...
入ってくるわ...



こんな
事って...

あ...ああ...
す...すこいわ
鉄郎...!!

あなた...
お父さんより
おいしいわ...!!

ハア

ハア

ハア



ハア

ハア

お母さん...
お父さん...
知らないから

なんて...
遅しいの...!!

ああ...鉄郎...
ステキよ...!!

ハア

お母さん...
こんな...
気持ちいいの
初めてよ!!

ハア

ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!

ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!
ズ!!



あ…あ…
す…す…
いいッ!!



実の息子との
セックスが…
こんなにも…
気持ちいい…!!



あ…あなた…
私…とっても
幸せよ…!!

鉄郎…
お母さんを
もつと…
感じさせて
ちょうだい!!

グ〜
グ〜



母さん…

グ~~~~

グ~~~~



母さんが…
悦んでいる…

いいッ!!

父さんが
死んで以来…
初めて…
悦んでいるんだ

うッ!!

ハア



も…
もう…
だめ…!!

ハア

ガク
ガク

鉄郎…!!
お母さん…
も…もう…
イキそう…!!

ハア



母さん…



あああああ

あ

イクツ!!



ああ…
鉄郎の…息子の…
熱い精液が…

ハア

子宮の奥まで
いっぱい…
届いてる…!!

ハア

溢れて
くる…!!



母さん…

気持ち
よかった!?

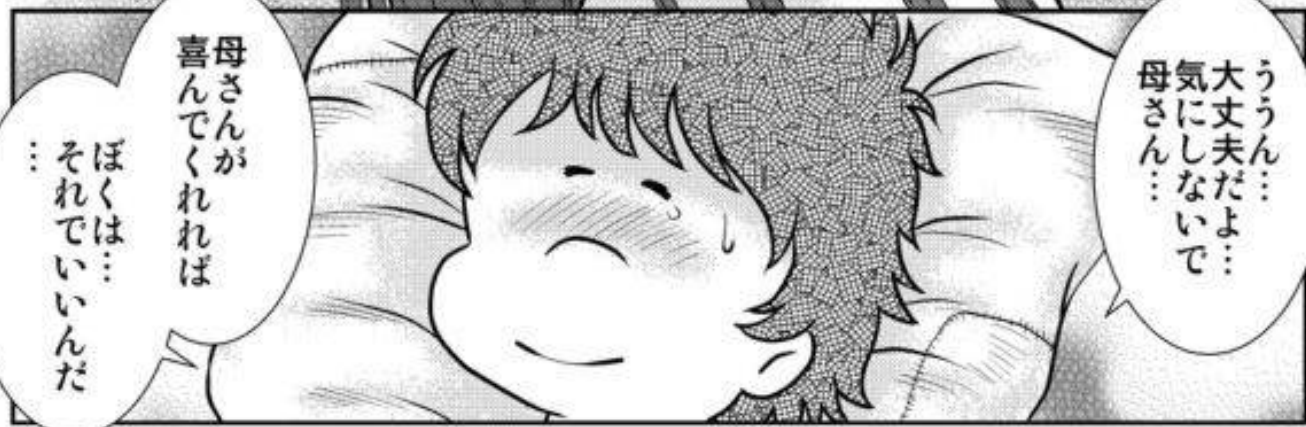
鉄郎!!



ごめんなさい
鉄郎…

お母さん…
お母さん…

許して…



ううん…
大丈夫だよ…
気にしないで
母さん…

母さんが
喜んでくれれば

ぼくは…
それでいいんだ



お母さん
うれしいわ…!!

ありがとう
鉄郎…



これからは
ぼくが母さんを
悦ばせてあげる!!

まあ…
鉄郎ったら
でも親子で
セックスする
のはいけない
ことなのよ…

え〜っ…!!
そ〜なの!?

ハア

ハア



お願い
かしら!?

知らなかったの!?
鉄郎ったら…
いけない子ね…
そんな事言うとお母さん…
本気にしちゃうわよ

でも…
お母さん
我慢出来ない
から…

ハア
ハア



ああ…
鉄郎…!!

愛してるわ!!
鉄郎…

私の…
愛しい息子…!!

母さん…!!

鉄郎…

鉄郎…

鉄郎…!!

…!!

メーテル!?

鉄郎…

気がついた?

うなされて
いたわよ…

悪い夢でも
見たの…!?



変な
鉄郎…

それより…
さつき…
私がしていた
事…

あなた…
見ていた…
でしよう!?

え…!!
いや…

ううん
いいのよ…

恥ずかし
かったけど…
あなたに
見られて…

いつもより
すごく感じ
ちやったわ

鉄郎には
私のすべてを
知って欲しい
から…

いつも…
してるって!?

メーテル…

そうよ…
あなたが
寝ている時は

寂しいから
一人で…
慰めてるのよ

んッ!!

私は…
あなたに
身も…心も…
捧げた女…

あなたに
愛される事
だけを…
望む女…

ウフ…
おいしい…

でも…
私はあなたを
束縛するつもり
もないわ…

鉄郎が
他の女の
愛しいの…

お母さんの
事が忘れられ
ないのなら…

私は…あなたの…
鉄郎のお母さんの…
若い頃の…
生き写し…

だから私が…
いつでも…
お母さんの…
代わりになって
あげるわ…!!

そして…あなたの…
苦しい思い出を…
忘れさせてあげる…

メーテル…

ああ…
鉄郎…!!

愛して
いるわ…!!

私の…
愛しい人…!!



鉄郎...

母さん...

E. N. O.













あとがき…

お買い上げありがとうございます。

鉄郎の母(設定では星野加奈江というそうです)が登場するのも今回が二度目です。

前回登場した時は、メーテルと同一コマ上に描かないといけなかったため、原作及び映像化された銀鉄作品を見ている人からは違う、とご指摘を受けるとは思ったのですが自分なりに描き分けの設定をもうけました。

原作では白黒と
処理されて
シーンと

いうこともあり髪はメーテルと同じく白くいます。映像化された作品の中では、回想してモノトーンで描かれており髪が何色なのか不明です。ただ唯一、鉄郎が持っているペンダントには加奈江の写真が入っており、茶色の髪をしていました。

で、名前から日本人であることは間違いないでしょうし、あの暮らしぶりでは髪を染めているとは考えにくいこともあり、普通に考えると鉄郎と同じ黒髪が当然だろうと推測しました。

でも原作では白くなっている以上、黒髪にするにはあまりにもイメージがかけ離れてしまうので、濃いめのトーン処理としました。

それとメーテルの場合は頬の髪が、原作以上のボリュームでにカールさせて描いてあります。加奈江はこれを無くし全体的にストレートな髪型にして描くようにしました。

これならメーテルと一緒に描いても違うキャラと判断出来るだろうと、考えた自分なりの解釈と設定です。





Kaguyahime